

令和6年度 自己評価表（最終）

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	現状値	各年度における目標値および実績値				評価 (自己評価の結果)	改善策
				令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度		
主体的に考え、判断し、行動する力を育てる。	○進んで学び、粘り強く挑戦する力の育成 ○自治的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 国語科・算数科の見方・考え方を働かせることができる授業の工夫・改善を行う。 各委員会において、振り返りを生かしながら主体的な活動を充実させ、適宜評価により児童の意識を高める。 	学期末テストの思考力・判断力・表現力等の平均 85%以上の割合	—	目標	—	80%	85%	3～6年で、算数科、1・2年、特別支援学級で国語科における見方・考え方を働かせる授業研究を行った。 国語科は、目標を上回っている。算数科は1学期より上がったが、目標を達成していない。 すべての委員会がのべ19回、児童朝会で発表した。	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力向上のため、月末の金曜日に MIM を行い、単語のまとまりを意識させ、言葉の意味理解を図る。 国語科では作文や発表など、算数科では文章題や計算の仕方などの解法を図や表を用いて説明するなど、視覚的に伝えるスキルを身につけ、分かりやすく説明する場を設定する。 委員会の朝会発表だけでなく、図書委員会が昼休みに読み聞かせをしたり、体育委員会がマラソンカードの呼びかけや集計、環境委員会が教室の整理整頓チェックと表彰などを行った。各委員会が自主的な活動をいろいろ工夫して行うことができた。来年度も各委員会の発表を継続して行う。
			各委員会主催の児童朝会を全委員会で実施	3/6 50%	目標	100%	100%	100%		
豊かな人間性を培い、たくましく生き抜く力を育てる。	○豊かな心を育む教育の充実 ○心身の健康のための取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の充実を図る。 体の柔軟性や調整力を高めるペアストレッチ等の運動、3分間走と遊具を使ったアスレチックを継続する。 	年間60冊以上、本を借りた人数の割合	—	目標	—	85%以上	100%	1月末 85%は5人であった。 読書ボランティアの読み聞かせ、各教室前に読書感想カードを掲示、10枚で図書委員会のくじ引きができる取組、週末読書により、図書室に行く回数が増えた。 2回目の体力テストの結果、握力 66.4%、長座体前屈 79.5%、ボール投げ 69.0%であった。平均 71.6%で、昨年度の実績を上回り、目標値に達することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習や並行読書など、計画的に図書を活用する学習を取り入れるようにする。 業間体育でタオルピッチングを行ったことにより、これまで投げの経験の少なかった低学年や女子のフォームが改善された。体育朝会で紹介した、リズム体操やなわとびの技を今後はチャレンジ10に取り入れていきたい。
			体力・運動能力調査の握力、長座体前屈、ボール投げの目標値の達成率	55.6%	目標	70%以上	60%以上	65%以上		
地域と一緒に、安全・安心な学校づくりを推進する。	○コミュニティ・スクールの取組推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の力を活用し触れ合う活動を取り入れ、地域を愛する心を育てる。 学校運営協議会の組織化をもとに、課題・ビジョンの情報共有による学校づくりをすすめる、地域・保護者への発信を充実させる。 	地域との協働による教育活動の件数	7	目標	10以上	15以上	15以上	下半期学校アンケートにおいて、地域が好きと回答した児童は94.9%であった。学校運営協議会を立ち上げてビジョンの共有をし、よりよい学校づくりに向けて熟議することができた。地域ボランティア募集チラシを配布し、地域ボランティア登録をしてくださる方も増えつつある。	<ul style="list-style-type: none"> 効果的であった昨年度の実践を引き継ぎながら、来年度以降も地域との協働による教育活動を充実させていく。 学校だよりにおいて継続的にCSに係る行事等を発信していく。 来年度に向けて地域ボランティアにラインネットに登録していただき、連携がスムーズにできるようにしていきたい。
					実績	17件	24件			